

## 子どもたちはこんなことを学びました!



## 今回体験したアクティビティ



○ 所要時間

約 45 分

🔪 カテゴリー

🔬 科学 -Science-  
🎨 芸術 -Arts-

♥ 身につくスキル

観察力 デザイン  
創造力 模倣する力  
手先の巧緻性

★ 難易度

1  
★☆☆

## 葉っぱの色を紙にうつしてみよう

このアクティビティでは、葉っぱを使って色や形を紙に写し出しながら、自然に触れながら楽しむことができます。葉っぱをこすって模様を写し出すと、自然の不思議や美しさに気づくことができます。そのあとで、写し取った模様を使って、自由に絵や作品を作る時間があります。この活動を通して、植物の特徴や色などのようにできているかを知りきっかけになったり、想像力を広げたりすることができます。自然と親しみながら、自分らしい表現を楽しむ体験になるでしょう。

## ❓ どうしてこうなるの？

葉っぱの中にはクロロフィル（緑色の色素）やアントシアニン（赤や紫の色素）といった色素が含まれています。

スプーンで圧力をかけると、葉の表皮などの組織がつぶれて色素がしみ出して紙に移ります。また、葉っぱの形や模様は、葉脈の配置によるものです。このアクティビティでは、植物が自然に持つ模様や色の特性を学ぶことができます。

## 📌 実際に社会で使用されているもの

自然の持つ色や形は、さまざまな分野で活用されています。例えば、植物染料を使った草木染めは、植物から色素を抽出して布や紙を染める技術で、ファッションやアートの分野で広く利用されています。この伝統技術は、自然由来の色合いを大切にしながら、現代でも持続可能なデザインの一環として注目されています。

また、植物標本は、葉や花の形や構造を保存して研究や教育に役立てる手法で、科学や博物館の展示でも重要な役割を果たしています。こうした標本から、自然の細部を学び取ることができます。

グラフィックデザインの分野でも、自然の形や模様はポスターやロゴなどのデザインに取り入れられ、視覚的な魅力を高める要素として使われています。

この活動を通じて、自然の模様や色彩の美しさに触れ、それが社会でどのように生かされているのかを知る機会になるでしょう。